

【議題】

「フォーラムと地域との連携」

【説明】

第4期市民運営協議会は、「男女共同参画センターと地域との連携」を一貫としたテーマとし1回ごとに具体的な検討課題を取り上げて議論していきます。今回は第3回の運営協議会での委員からの意見をふまえたフォーラムの取組を報告し、各委員から地域との連携に関するご自身の活動報告をしていただきました。その後「フォーラムの地域との連携」というテーマについてご質問やご意見をいただきました。

【意見交換の概要】

- ①（公財）横浜市男女共同参画推進協会の概要のパンフレットに「めざすもの」として、「行政・企業・学校・NPO等との連携や協働により…働きやすいまちづくりに貢献してまいります。」と謳われている通り、企業やNPOその他の団体ともっと協働し、それがわかるようにPRしていくべきだ。現在はどんな団体とどんな協働をしているのかわかりにくい。
- ②協働とは、フォーラムが主催する事業の講師に迎えたり、お手伝いしてもらうことではなく、対等なパートナーとして企画段階から参画して事業を運営していくことだ。そうすれば協働先の団体もそれを主催事業として広報するので広報力が数倍になりフォーラムの認知度も上がる。
- ③例えばある公益施設のように、つきあいのある地域の団体に企画実施や他施設から頼まれたイベントの実施を依頼するなど、協力してくれる人々や団体をつくり、どんどん相談や依頼をしてはどうか。地域の方々や団体はそのような企画やイベント実施から学びたいと思う方が多く、フォーラムと対等につきあう中から得る学びや経験を通してフォーラムのファンが育っていく、そのこと自体が地域連携のひとつの形とも言える。
- ④貧困家庭の子どもや障がいのある人など、課題を抱えた人への支援事業を実施しても、子ども食堂のように実際来てほしい当事者は参加していないことは非常に多く、それはイベントへの参加自体がハードルが高く当然のことである。それをふまえてどんな人も来られるよう対象者の間口を拡げて来てもらい、その中に1人でも困難を抱えた真の対象者が来られればよい、というふうを考えるべきだ。かつ、困難を抱えた対象者がそうではない一般の人の中にまぎって交流することも意味がある。それにより最終的に地域で受け入れられ普通に生活することが求められている。フォーラムは課題を抱えた人とそうでない人が共に参加し交流できる場を提供してはどうか。
- ⑤難聴で子育て中の女性の団体が、映画に字幕をつけてほしいと要望を長年もちながら、字幕付き上映の採算性の観点から実現してこなかった。どのようにすれば実現できるのかを団体とフォーラムがいっしょに探っていくなど、具体的な身近な案件をまず取り組んでみるという協働の仕方を始めてはどうか。

【特記事項】

今回は、委員とフォーラムの各々が、お互いにこんな協働をしたら楽しいのではないかと、またこの方またはこの団体にこれをしていただきたい、というような協働案を報告していただく。